

## 愛知のキャベツ

### 1 愛知のキャベツは日本一

平成 28 年産の作付面積は 5,450ha で、日本一の作付けを誇っています。

県内では、東三河の温暖な地域での栽培が盛んで、特に 11 月から 3 月にかけて出荷される冬キャベツについては、全国の出荷量の 3 割以上を占める一大生産地となっています。(表 1)

表 1 キャベツの主要生産県の状況（平成 28 年産、産出額は 27 年産）

県名	作付面積 (ha)		出荷量 (t)		産出額 (億円)
		うち冬キャベツ		うち冬キャベツ	
愛知	① 5,450 (15.8%)	① 4,190 (27.2%)	② 238,100 (18.3%)	① 183,800 (34.1%)	② 158 (13.9%)
群馬	② 3,910	191	① 242,800	4,770	① 220
千葉	③ 2,900	② 1,530	③ 116,500	② 60,200	③ 106
全国	34,600	15,400	1,298,000	539,600	1,136

注：愛知県の欄の（ ）内は全国シェア、丸内の数字は全国順位（出典：農林水産省）

### 2 愛知県キャベツ連絡協議会について

#### (1) 組織の概要

- 設 立 平成 21 年 4 月
- 会 長 富田 信茂（JA 愛知みなみ常春部会長）  
とみだ のぶしげ
- 構 成 キャベツ生産 4 組織（表 2）・JA あいち経済連
- 事務局 JA あいち経済連 園芸部東部販売課内

表 2 愛知県キャベツ連絡協議会の構成

組織名	戸数	栽培面積(ha)	備考
JA 愛知みなみ常春部会	795	1,300	
JA 豊橋キャベツ部会	568	1,150	
JA ひまわりそさい連合	100	23	赤しそ、スイートコーン、白菜、レタスなども栽培
JA あいち知多 知多園芸振興協議会秋野菜部	100	96	主な産地：大府市、南知多町 主にキャベツを栽培
合計	1,563	2,569	—

#### (2) 主な活動内容

キャベツに関する生産技術、品質向上、流通販売、消費宣伝等

### 3 キャベツはビタミンが豊富

ビタミンCやビタミンKが豊富（表 3）で、胃の粘膜を守るといわれるビタミンU（キャベジン）も含まれます。

表 3 一日当たりのビタミン摂取基準とキャベツ成分量

	ビタミンC (mg)	ビタミンK (μg)
成人の食事摂取基準	推奨量 100	目安量 150
キャベツ 100g 当たり	41	78

(出典：日本人の食事摂取基準 2015、日本食品標準成分表 2015)